

エコアクション21

環境経営レポート

(対象期間: 2018年4月1日～2019年3月31日)



2019年9月17日

東京特殊車体株式会社

目 次

1.	組織の概要	1
2.	環境経営方針	2
3.	環境活動の実施体制	4
4.	過去3年間の環境負荷の状況	5
5.	環境経営目標(中期3ヶ年計画)	7
2017～2019年度		
6.	今年度の環境経営目標と実績、次年度の取り組み	8
7.	環境関連法規等の遵守状況並びに違反、訴訟等の有無	10
8.	代表者による評価および見直し	10

1. 組織の概要

1. 事業所名
東京特殊車体株式会社
2. 代表者氏名
代表取締役 西岡 偉久
3. 所在地
〒192-0907 東京都八王子市長沼町 1304 番地の 1
4. 環境管理責任者
取締役総務部長 中村 伸一
連絡先：TEL: 042-644-3517 E-Mail : shinichi.nakamura@toutoku.co.jp
5. 事業の規模
資本金 : 40,000 千円
年商額 : 2,683 百万円(2018 年度実績)
主要品生産量 : その他製造業（特種車両の製造：102 両（2018 年度実績）
従業員数 : 68 名（2019 .3.31 現在）
延床面積 : 6,084 m²
敷地面積 : 9,312 m²
6. 事業活動の内容
各種特種車両の設計・製造販売・修理
7. その他
設立年月日：1967 年 2 月 10 日

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名	: 東京特殊車体株式会社
関連事業所	: なし
登録対象外	: なし
活 動	: 各種特種車両の設計・製造販売・修理

2. 環境経営方針

環境経営方針

東京特殊車体株式会社は、「環境にやさしく」という京王グループ理念に基づき、環境保全に配慮し、環境負荷低減を目指した事業活動を行います。

1. 環境保全活動を推進するにあたり、技術的・経済的な事情を勘案のうえ、京王グループ環境基本方針に沿って、以下に掲げる環境負荷項目の低減に努めます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の抑制と再利用の向上
 - (3) 節水の実践
 - (4) 化学物質使用量の削減
 - (5) グリーン調達の推進
2. 環境保全活動を継続して実施するため、具体的な環境経営目標・活動計画を策定して取り組みます。また、環境目標は定期的にあるいは必要に応じて適時見直しを行います。
3. 環境に関する法令、規制その他公的基準を遵守します。
4. 環境方針を全従業員に周知するとともに、環境に配慮した製品・サービスを提供することにより、全社一丸となって環境保全に貢献します。
5. 環境保全活動等については、環境活動レポートとして公表します。

制定 2019年 4月 1日

東京特殊車体株式会社
代表取締役 西岡 偉久

《参考》系列グループの理念および環境基本方針

「京王グループ理念」

私たち京王グループは、
つながりあうすべての人に誠実であり、環境にやさしく、
「信頼のトップブランド」になることを目指します。
そして、幸せな暮らしの実現に向かって
生活に溶け込むサービスの充実に日々チャレンジします。

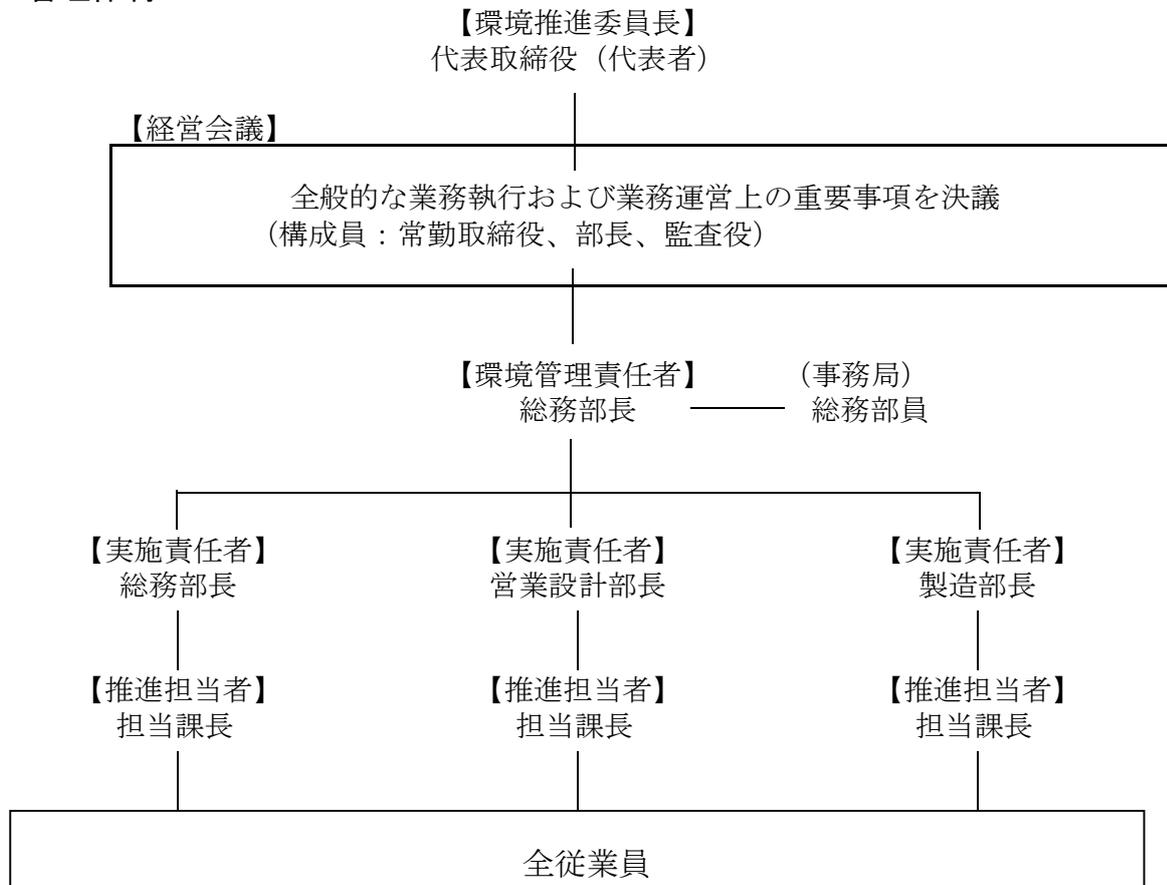
「京王グループ環境基本方針」

私たちは、「環境にやさしく」というグループ理念に基づき、環境問題を地球規模で考え、持続的発展が可能な社会の実現を目指して、環境保全に配慮した事業活動を行います。

1. 地球温暖化防止のため、エネルギーの効率利用に努めます。
2. 循環型社会実現のため、廃棄物の削減、リサイクルおよび適正処理を図るとともに汚染の予防に努めます。
3. 環境に関する法令、条例、協定などを遵守します。
4. 地域社会との調和を目指し、騒音、振動の抑制ならびに緑化活動の推進に努めます。
5. より良い環境の実現に向けて、地域や社会の環境保全活動に積極的に参加します。
6. 従業員一人ひとりの環境意識向上を図るため、啓蒙・教育活動を実施します。
7. これら環境保全環境を推進するため、鉄道をはじめとするすべてのグループ会社の事業活動において環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に取り組めます。

3. 東京特殊車体(株)環境管理体制及び役割

1. 管理体制



2. 役割分担

名称	役割・責任	
環境推進委員長 (代表者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動全般の推進 環境管理責任者の任命 環境活動の評価、見直し（毎年1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の作成 経営資源の確保
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 活動の構築、運用 各種会議体の開催 代表者への報告 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局運営 取組み状況の確認と改善 外部からの苦情の窓口
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境責任者、運営のサポート 環境活動レポートの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 各種データの取得、記録 啓蒙活動の推進
実施責任者	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の統括 推進担当者のフォロー 	<ul style="list-style-type: none"> 活動計画実施状況の監督
推進担当者	<ul style="list-style-type: none"> 活動計画の実務推進 環境活動の実施状況の報告 取組みに対する意見の集約、具申 	
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解、取組みの意義・重要性の自覚 環境活動への参加、環境計画の実行 	

4. 過去3年間の環境負荷の状況

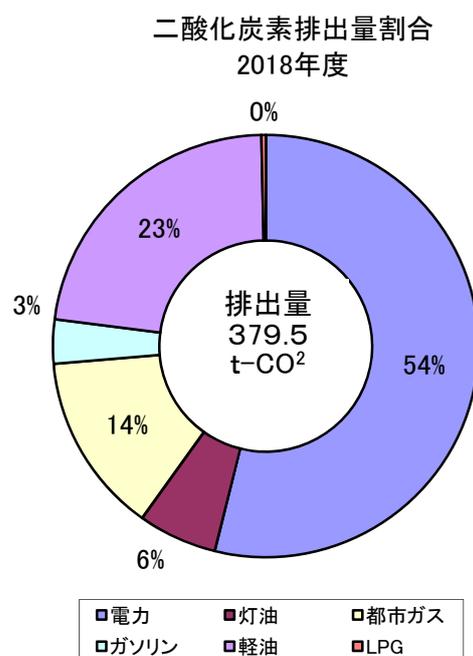
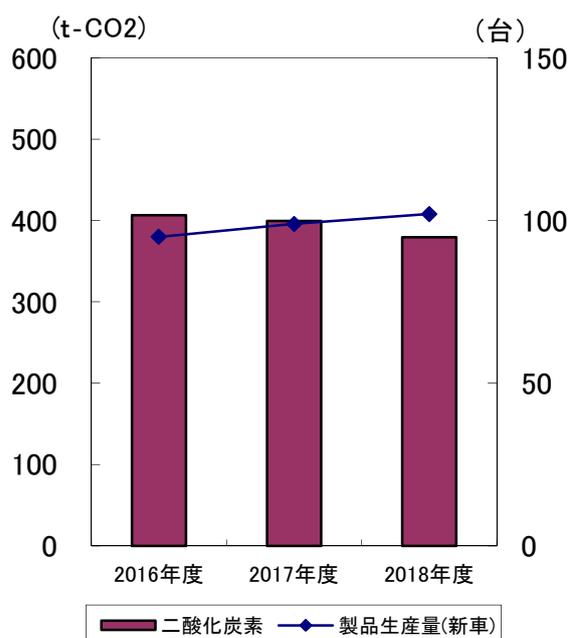
環境への負荷(指標及び種類)		単位	2016年度	2017年度	2018年度
			2015.4-2016.3	2016.4-2017.3	2018.4-2019.3
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	t-CO ₂	406.4	399.5	379.5
② 廃棄物排出量	資源物	再生利用	132	126	94
		焼却処理	4	4	4
	産業廃棄物	中間処理	51	60	52
③-1 総排水量	下水道	m ³	1,034	1,116	1,149
③-2 水使用量	上水	m ³	218	289	518
	地下水	m ³	990	1,004	766
④ 化学物質使用量	PRTR	kg	3,024	2,497	2,938
	都管理物質	kg	3,961	3,747	4,091
	総排出量	kg	4,568	4,227	4,784
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	6,263,952	5,869,309	5,333,461
	化石燃料	MJ	2,796,896	2,947,597	2,847,914
⑥ 物質使用量	資源使用量	t	329.2	291.3	300.0
⑦ サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質	-	対象なし	対象なし	対象なし
	水の利用量	-	対象なし	対象なし	対象なし
⑧ 総製品生産量	製品生産量(新車)	台	95	99	102

※CO2排出量の計算に使用した電気のCO2排出係数は

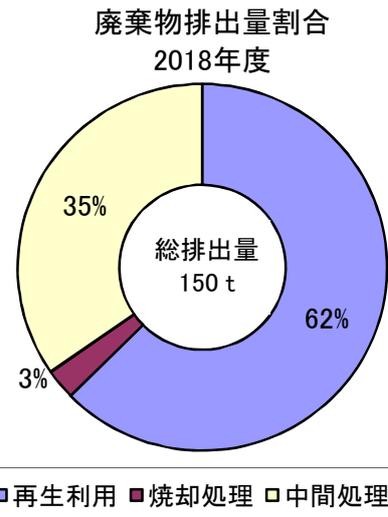
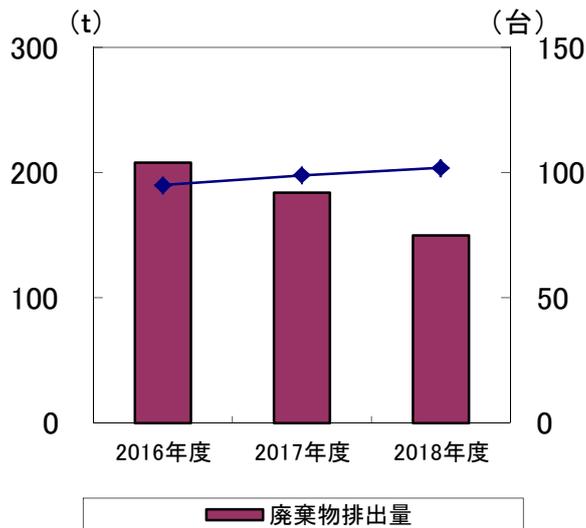
2014年度までは 0.377kg-CO₂/kWh

2015年度からは 0.382kg-CO₂/kWhで算出してます

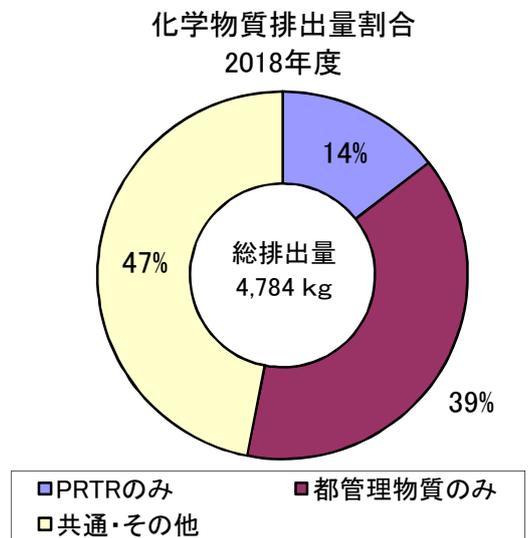
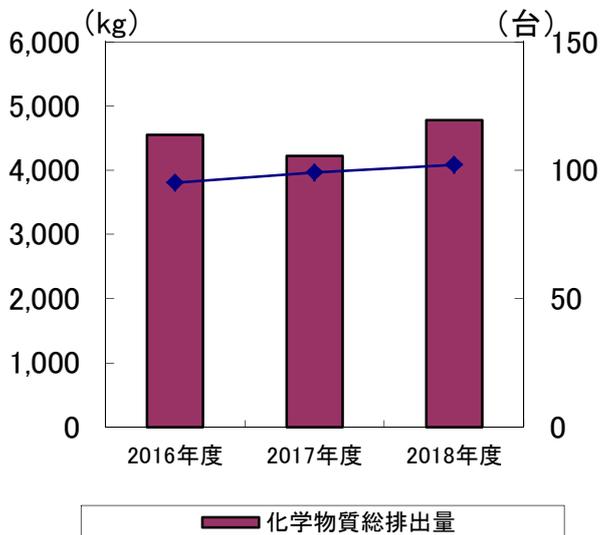
二酸化炭素排出量と生産量



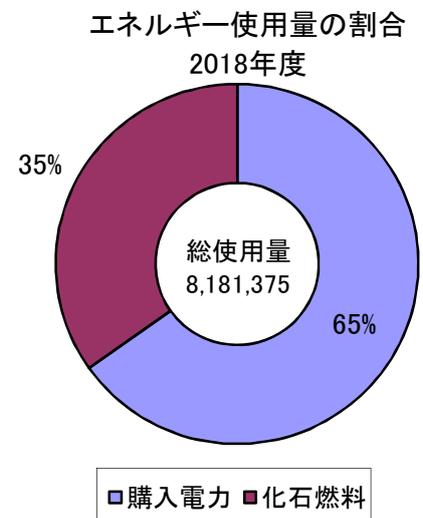
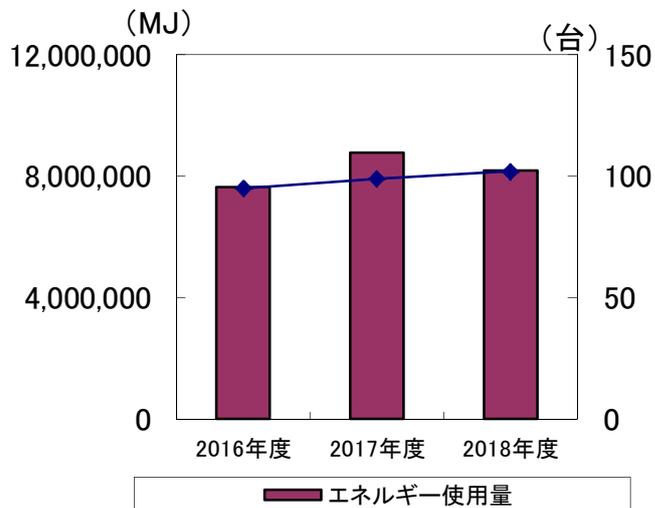
廃棄物排出量



化学物質使用量



エネルギー使用量



5. 環境目標(中期3ヵ年計画)

2018年度～2020年度

環境中期目標の主要項目

2018年3月 制定

重点施策	目的	環境目標			
		2018年度	2019年度	2020年度	
1 環境負荷の削減	1.1 省エネルギー・省資源	CO ₂ 排出量削減 (t-CO ₂)	397.9	393.9	390.0
		使用電気量削減 (kWh)	615,700	609,541	603,446
		都市ガス使用量削減 (m ³)	30,089	29,788	29,490
		灯油使用量削減 (ℓ)	8,134	8,052	7,972
		水使用量削減 (m ³)	1,184	1,172	1,160
		化学物質使用量の削減 (kg)	4,479	4,434	4,390
	1.2 廃棄物削減	業務上発生する産業廃棄物排出量の削減 (kg)	50,279	49,776	49,278
2 環境取組への取組の推進・向上	2.1 グリーン購入	環境を考慮した事業経営	事務用品 購入	事務用品 購入	事務用品 購入
	2.2 環境コミュニケーションの実施	業界団体の環境活動への参加	負荷物質フリー宣言の再確認	負荷物質フリー宣言の再確認	負荷物質フリー宣言の再確認
		地域住民との交流 外部情報の活用	工場公開継続 廃棄物業者訪問 展示会の見学	工場公開継続 廃棄物業者訪問 展示会の見学	工場公開継続 廃棄物業者訪問 展示会の見学
2.3 その他	省エネ 廃棄物減量	本工場の環境管理 の新ルール決め	ルールの定着	使用電気量の維持	

電力の CO₂ 排出係数は 0.382 kg-CO₂/kWh です

6. 今年度の環境経営目標(環境活動計画)と実績、次年度の取り組み

6.1 環境負荷の削減

分類	項目	環境目標 環境活動計画	2018年4月～2019年3月 (製造台数 102両)			今期の振り返りと次年度の取り組み	
			実績	対目標	評価		
環境負荷の削減	1.1 省エネルギー・省資源	CO ₂ 排出量削減 (t-CO ₂)	397.9	379.5	95%	○	本工場の高天井照明の全数LED化が完了した効果が見られた。年度途中から来年度にかけて、本工場の雨漏り改修のため屋根部の明かり取り窓を閉鎖するため、次年度以降の傾向、量の推移を注視する。
		使用電力量削減 (KWh)	615,700	534,951	87%	○	
		都市ガス使用量削減 (m ³)	30,089	23,252	77%	○	前年度依然と比較して、年度を通し平均して車両が製造されたため、比較的塗装の間隔があき、ガス使用機会が減少したと考えている。
		灯油使用量削減 (ℓ)	9,315	9,170	98%	○	昨年度の良好な状態を継続している。
		水使用量削減 (m ³)	1,230	1,284	104%	×	製作車両数の増加による使用量増加がみられるほか、工場事務所が分離したため、傾向の変化が必要になっている。
		化学物質使用量の削減 (kg)	5,240	4,784	91%	○	健康障害防止等のため、塗料の環境対応を進めた結果、トルエンやキシレン類の使用量の低下がみられた。今後とも、他のシンナー類も環境対応を進めて行く。
	1.2 廃棄物削減	業務上発生する廃棄物量の削減 (kg)	50,279	51,710	103%	×	最後の本工場耐震補強関連工事が終了し、工場内の設備等の移動がひと段落し、一層の整理整頓活動が指示されているため、廃棄物量が微増したと考えている。次年度以降の傾向、量の推移を注視する。

電気のCO₂排出係数は 0.382Kg-CO₂/kWh で計算しています

6.2 環境への取り組み

分類	目的	環境目標 環境活動計画	2018年4月～2019年3月 (製造台数 102両)		今期の振り返りと次年度の取組み	
			取組結果	評価		
環境への取組	2.1 グリーン購入	事務用品の優先購入	・購入品の選別	統一カタログによる購入の継続	○	今後も継続する。
	2.2 顧客サービス	業界団体の環境活動への参加	・車工会環境フリー宣言活動 ・環境事例発表会へ参加	7月にフリー宣言を継続 7月の事例発表会に出席	○	環境経営への配慮を行う。
		地域住民との交流 情報提供	・定期的な工場周辺清掃活動を実施	毎月1および16日に、工場正門周辺清掃活動を実施している	○	周辺環境を良好に保つ活動を継続する。
	2.3 その他	省エネ・設備更新	・工場照明のLED化の推進 ・個別SW化の推進	高天井照明、本工場内通路用照明のLED化の効果が高かったため、作業灯など、他の蛍光灯のLED化を推進した。 また、より効果を高めるため、個別SWの場所別表示などを行った。	○	残る照明のLED化や、照明の効率的な利用のため、個別SW化や運用方法の改善を推進していく。

7. 環境関連法規等の遵守状況並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は、廃棄物処理、騒音・振動、化学物質・危険物、消防、及び車両・輸送関係であります。これらの法律及び条令に基づき適切に対応しており、違反はありません。また訴訟に関しては過去5年間ありません。

8. 代表者による評価と見直し

本年度はここ数年取り組んできた本工場の耐震工事、それに伴う事務所新設や天井LED化等の省エネ設備の導入など、一連の工場環境改善がひと段落し、結果を明らかにする年となりました。

大きな成果としては、弊社最大の環境負荷である電気消費量低減が実現しました。

次年度以降は、新しい設備に適した運用ルールへの見直し等の工夫をこらし、結果を追跡していきます。

そのほか、車両塗装に使用する塗料について、一昨年度から実施を開始した「環境に配慮した塗料」へほぼ全量が切り替えられ、有害性の高いP R T R届出物質の減少がみられるなど、着実に改善を行っております。

また、エコアクション21を2017年版に移行いたしました。

今後も、品質システムISO9001とエコアクション21とを一体化した取り組みである全社改善活動「ONE1019」の活性化により、永続的な改善をすすめて参ります。